

# 夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢  
**助産師**

その仕事や夢を選んだ理由  
妹が産まれた時に、助産師さんに助けてもらったので、私も産まれる時に大変な子を見てみたいと思ったから。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう  
・かみご師の資格 ・語い力 ・大学…約800,000円  
・助産師の資格 ・忍耐力 ・それぞれの学費

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12才	小学校 ・第一志望の大阪教育大学附属天王寺中学校に入るために、勉強をする。 ・本をたくさん読む。
13才 15才	中学校 ・第一志望の大阪教育大学附属天王寺高校に入るために、規則正しい学校生活をおくる。 ・英語を勉強する。・海外に
16才 18才	高校 ・大阪大学に入るために、勉強をかみぼる。 ・勉強以外で夢中になれることを見つける。
19才 22才	大学 ・大阪大学の医学部に入る。 ・かみご師をメインに勉強をする。
22才	・かみご師の国家試験を受ける。
23才	・助産師の国家試験を受ける。
24才 35才 36才	しゅう識 ・大きな病院のぼ集におうぼして、活動をはじめる。 ・先ぱいの助産師を見習い、勉強する。 ・後はいに教えながら、自分のスキルをみかぐ。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと  
・子供を2人つくる。

## 命の誕生を助ける仕事

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 前田 紘希

私が将来なりたいのは、明るくて、周りの人を笑顔にすることのできるような助産師さんだ。理由は二つある。一つ目は、助産師の仕事は、命の誕生を助けて、見ることのできる、とてもやりがいのある素晴らしい仕事だからだ。もう一つは、私の妹が生まれてきた時に、お母さんと妹のことを助けてくれたからだ。妹は、生まれてきた時に息をしてなくて、死にそうになっていた。だから、生まれて一時間も経たないうちに、もっと大きい病院に搬送された。そして、その病院で、体温を三十三・五度まで下げて脳へのダメージを減らす「新生児低体温療法」という治療を受けた。その結果、後遺症もなく、元気になった。お父さんもお母さんも私も、とても感謝している。だから私は、助産師さんになって、妹のような子や、そのお母さんを助けたいと思う。助産師は、人とたくさん関わり、話す

仕事だ。だからまず、いつでも明るくないといけないし、語彙力も必要になる。これは、本を読んだり国語の文章問題を解いたりすることで力をつけることができることだ。  
よく知られている助産師の仕事は分娩時の出産介助だが、その他にも、赤ちゃんが産まれる前と後の妊婦さんの身体と心のケアや、子育ての支援など、重要な任務がたくさんある。だから今から、どんどん新しいことにチャレンジしなければいけない。例えば代表委員や運動会の応援団、学級会の司会・進行だ。  
そして助産師になるために必要不可欠なのは、資格を取ることだ。そのためには、看護大学の助産師課程に入り国家試験を受けるか看護師養成所に入り、看護師の資格を取ってから、さらに助産師の国家試験を受けなくてはならない。晴れて合格したら、助産師さんになることができる。

将来、なりたい自分になるためには、今から未来のためにチャレンジを続けることが大切だ。国語、算数、理科、社会だけでなく、人間の体の仕組みについて研究したり、赤ちゃんやお母さんの健康を見極める技術、心のケアの仕方についても勉強しないと行けない。それに、自分の体と心も大切にしないと行けない。このすべてをクリアすると、みんなに信頼されて、妊婦さんの心も体も元気にすることできる、私が想像する「いい助産師さん」になることができると思う。

\*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。